



わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊に実を結ぶ。 ヨハネによる福音書15章5節

I am the vine, you are the branches. Those who abide in me and I in them bear much fruit. (JOHN15:5)



一〇二年目の体育祭 晴天の下 響く歓声

9月8日(土)、創立101年目の九州学院体育祭が本学院のグラウンドで開催されました。前日の天気予報では、最後まで何とか無降雨確率60%という事になることができた。こと、実施出来るか。開会式の午前9時に、グラウンドの周囲に張り巡らせた来客用のテントは、保護者のみなさんで満員となりました。生徒たちは、暑さにも負けず、みんな元気にとても楽しそうに体育祭に参加し、どの種目の時にもグラウンドに歓声が響きました。



圧巻は恒例の部活紹介。敬愛会生徒会を先頭に文化部、体育部の部員たちがそれぞれユニフォームに

身を包んでグラウンドを行進すると、あちこちから声援や拍手が送られ、ビデオや写真を撮る姿も多く見受けられました。

内村院長が「クラブ活動を通して、人間力を高めよう」と訓辞を述べ、先のインターハイの自転車競技1kmタイムトライアルで日本一となった瓜生崇智選手がこれに答えて力強く宣誓をしました。

一学期から準備をしてきた生徒会役員や応援団のメンバーの熱意が一般の生徒たちにも伝わり、実に素晴らしい体育祭にすることができました。

また、暑い中を早朝からこ来校を賜りまして多くの保護者、同窓生、一般の方々におかれましては、本当にお疲れ様でした。なお、今年も育友会から生徒全員に、冷たいミネラルウォーターが配布されました。

田中将輝君(高3) サンデー毎日学生書道コンクールで日本一!



第41回サンデー毎日の学生書道コンクールの最高峰・文部科学大臣奨励賞に、九州学院の田中将輝君(高3)の作品が選ばれ、9月3日の午後、九州学院院長室で表彰式が行われ、

田中君は剣道部に所属しており、母親の影響も受けながら、集中力を養うために書道が役立つということ、表彰式では、関



係職員や保護者が見守る中、毎日新聞社大島透支局長から田中君に表彰状と副賞が直接手渡されました。

高円宮杯第64回 全日本中学校英語弁論大会

県大会で梅田君が優勝 吉永さんも3位に

10月3日、熊本市男女共同参画センター(あもに)で開かれた、高円宮杯第64回全日本中学校英語弁論大会の県大会で、梅田遙霞君(3年)が優勝しました。また、吉永陽さん(3年)も3位に入賞しました。

梅田君の演題は「Windows into the Past」というもので、写真に残る家族との思い出などを5分間のスピーチにまとめて英語で発表しました。

上位3人が県代表に選ばれ、11月29日、東京・赤坂区民ホールで開かれる決勝予選大会に出場します。1校から1人という規定により、吉永さんは残念ながら出場できませんが、名誉賞として大会レセプションなどに招待されます。九州学院中学校は、これまでに全国優勝8回をはじめ、多くの上位入賞を果たしています。

また、同時に開催されたショートスピーチ大会では、2位に海北三奈さん(2年)、3位に村井香音さん(2年)が入りました。

国体・高校総体 自転車・水泳・陸上で日本一

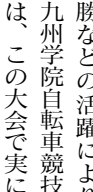
瓜生崇智選手(高3) 高校総体 自転車 1kmTTを制す

「全国高校総体」(新潟市・弥彦競輪場)の自転車競技1000メートルタイムトライアルで、瓜生崇智選手が見事全国優勝を果たしました。同種目での優勝は、県勢として史上初めての快挙でした。



も曽我圭佑選手の準優勝などの活躍により、九州学院自転車競技部は、この大会で実に22年ぶりのトラック総合優勝を果たしました。

宮本靖子選手(高3) ぎふ国体 競泳 400Mで優勝



国民体育大会「ぎふ清流国体」(9月・長良川スイミングプラザなど)競泳少年女子400メートル自由形で、宮本靖子選手が悲願の優勝を果たしました。また、100メートル自由形でも4位に入賞しました。

野林祐実選手(高2) 高校総体 陸上 100・200で2冠 (女子最優秀選手賞受賞)



全国高校総合体育大会「2012北信越かがやき総体」(8月・東北電力ビッグスワンスタジアム)陸上女子100メートルと200メートルの2種目で、野林祐実選手が優勝し見事2冠を達成しました。



新潟での高校総体では、同種目で200メートルで2位、100メートルでも3位に入りました。8月にはハワイで開催された。

22年ぶりの トラック総合優勝

瓜生選手は、チームスプリントで準優勝、スプリントで

準優勝、スプリントで

「心のトレーニング」

九州学院 院長 内村 公春

この夏は、本当に暑い夏でした。にもかかわらず、今年も多く生徒諸君の文化面やスポーツ面での活躍がありました。それぞれの諸君のたゆみない努力・鍛錬の成果です。指導していただいた先生方のお陰でもあります。お祝いと共に心より感謝したいと思います。ところで人間にとって幸せとは、何でしょうか。元東レ経営研究所所長の佐々木常夫さんは、「究極の幸せ」として次の4つを挙げています。「人に愛されること、人にほめられること、人の役に立つこと、そして人から必要とされること」です。この4つに共通しているものとして、「自分で自分の存在を肯定していること」と「他の人から自分の存在が肯定されていること」があるのだと思います。そこには温かいコミュニケーション関係が成立しているはずで、当たり前ですが、学校においては家庭において、この関係はとても大事です。ところが、残念ながらその逆の関係も生じます。他の人の存在を否定し、自分で自分を否定してしまうというものです。この自分で自分を否定してしまうというのは、他の人からその存在を否定されることによって生じます。その典型的な出来事が、このところ大きな問題となっている「いじめ」や「子ども虐待(ネグレクト)」だと思っています。こうした事件を見ると、その存在を否定してしまう「他の人」は、「友人であり、教師であり、親」です。もちろん、こうした関係が、最初から生じるということはありません。そういう関係を生み出してしまう「ちょっとした出来事」に気付かず、いつの間にかそういう関係を生み出してしまふ「心の弱さ」があるように思えます。だからこうした事態をできるだけ生み出さないためには、スポーツ選手が、その競技力を高めるために必要な苦しいトレーニングをするように、「心」も「トレーニング」する必要があります。そして辛いことに九州学院に集う生徒諸君には、その「心のトレーニング」の機会が、毎日用意されているのです。それが、礼拝です。礼拝を通して私たちは、生き方そのものについてより深く考えるヒントを頂くのです。何よりも考えるという機会を頂くのです。そしてもちろん、私たちを認め励まして頂く、目には見えない存在があることも学ぶのです。

「主の手にすがって」

チャブレン 富島裕史

「心って、不思議ですね。木の葉が揺れて風が見えるように、心が揺れてはじめて自分の心が見える。そして、その心は羽のようにフアフア軽くなったり、一瞬にして、鉛のように重くなったりもする。」と語った人がいました。

確かにそうですね。私たちの心は羽のようになったり、苦しみや悩みによって、鉛のように重くなってしまうのです。聖書の中に、荒れ狂う湖で、船をこぎあぐねている弟子たちの姿が語られています。この時の弟子たちの心は、まさに鉛の状態であったことでしょう。

そのような中で、ペトロはイエスを信頼し、荒れ狂う波の上に自分の足を降ろす場面があります。しかし、その足は沈みませんでした。自分にはできなくても、イエスの命じられることならできるということをペトロは体験したのです。ところが、ペトロは、強い風に気がついて怖くなり、沈みかけってしまったのです。私たちもペトロと同じではないでしょうか。いやなことや逆境に追い込まれると、イエスが共におられることを忘れ、怖くなってもうだめだと思ってしまいます。

しかし、そのとき、ペトロにはどのようなことが起こったのでしょうか。「主よ、助けてください」と叫ぶと、イエスは「信仰の薄い者よ、なぜ疑ったのか」と言われながらも、すぐに手をのばして、つかまえてくださったのです。この出来事は、沈みかけた私たちにも、イエスは救いの手を伸ばし、引き上げてくださるということです。私たちがたとえ絶望的な状況の中にあっても、しっかり握って離さないイエスのみ手があることを忘れることなく、その温かなイエスのみ手を信頼し、すべてをおゆだねしていきたいと思ひます。



熱中症対策のために、氷柱と大型扇風機を各所に設け、参加者全員に各自に冷たいミネラルウォーターやオリジナルのウチワなどを配布しました。中学生や保護者の皆さんは、最後まで熱心な様子でした。

今回も熊本大学、福岡大学、西南学院大学、熊本学園大学、崇城大学など10の大学から先生が来校され、「医療・看護学はおもしろい」「経営学はおもしろい」など、12のテーマで授業をしていただきました。

高校新生徒会役員			
会長	古閑 章彦	副会長	河崎 公介
書記	宮田 智美	書記	河野 佑実
会計	吉澤 希奈	辻 建	成



「みんなで作るステキな人生」あなたも大事！という演題で、先生の日々のブログ「味な話の素」から抜粋した、新しい人間関係づくり、朝から「わくわく」する公認欠席を除く）が集まり、先生のお話に熱心に耳を傾けました。

「みんなで作るステキな人生」あなたも大事！という演題で、先生の日々のブログ「味な話の素」から抜粋した、新しい人間関係づくり、朝から「わくわく」する公認欠席を除く）が集まり、先生のお話に熱心に耳を傾けました。

「みんなで作るステキな人生」あなたも大事！という演題で、先生の日々のブログ「味な話の素」から抜粋した、新しい人間関係づくり、朝から「わくわく」する公認欠席を除く）が集まり、先生のお話に熱心に耳を傾けました。

「みんなで作るステキな人生」あなたも大事！という演題で、先生の日々のブログ「味な話の素」から抜粋した、新しい人間関係づくり、朝から「わくわく」する公認欠席を除く）が集まり、先生のお話に熱心に耳を傾けました。

「みんなで作るステキな人生」あなたも大事！という演題で、先生の日々のブログ「味な話の素」から抜粋した、新しい人間関係づくり、朝から「わくわく」する公認欠席を除く）が集まり、先生のお話に熱心に耳を傾けました。

2013 高校

入試説明会・オープンキャンパス

参加者は1600名超

8月25日(土)、九州学院体育館において、2013(平成25)年度の入試説明会&オープンキャンパスを開催しました。

午前の部は、用意していた椅子が大幅に不足して体育館が満員となり、過去最高の1200名以上の参加者がありました。ただでさえ暑い館内は参加者の熱気も加わり相当な暑さとなりました。

恒例の大学一斉出前授業
今年は10大学、12テーマ

午前(10時~12時)に熊本市地区、午後(14時~16時)は熊本市以外の中学生および保護者の皆さんを対象に行ない、参加者は午前、

6月14日(木)の5時間目と6時間目に、大学の先生を九州学院にお招きし、高校三年生対象に「出前授業」をして頂きました。

22大学の合同説明会

「全校講演会」

講師に吉田道雄熊大教授を迎えて

9月15日(土)、熊本大学教育学部吉田道雄教授を講師にお招きして、「全校講演会」を行いました。

会場の学院体育館には、中高の約1300人(クラブの試合による公認欠席を除く)が集まり、先生のお話に熱心に耳を傾けました。

「みんなで作るステキな人生」あなたも大事！という演題で、先生の日々のブログ「味な話の素」から抜粋した、新しい人間関係づくり、朝から「わくわく」する公認欠席を除く）が集まり、先生のお話に熱心に耳を傾けました。

「みんなで作るステキな人生」あなたも大事！という演題で、先生の日々のブログ「味な話の素」から抜粋した、新しい人間関係づくり、朝から「わくわく」する公認欠席を除く）が集まり、先生のお話に熱心に耳を傾けました。

東日本大地震被災者支援 避難の小中学生対象に九州学院で学習塾

東日本大震災の被災地から避難している小中学生を対象としたボランティア学習塾が、4月から九州学院で開かれています。

この塾は、「熊本で出来る支援をしよう」と、国語科の高橋教諭が立ち上がり、県を通じて避難者家族に呼び掛け開いているもので、現在13人の小中学生が参加しています。

塾は九州学院を会場として、毎週火曜午後6~8時と、土曜午後2~4時の2回、九州学院の11人の高校生と数名の若い先生たちが、ボランティアとして教えています。

高橋教諭は、「環境の変化に悩む子どもいると聞いています。心のケアもしたいですね。子どもたちと年齢が近い高校生が手伝ってくれて嬉しく思います。」と話しています。

まさに九州学院の奉仕の精神「役に立つ善人となれ」を実践する素晴らしいプログラムです。

卒業生からのメッセージ

敬天愛人の教を胸に

やるべきことを今



川口 文悟
東京大学
前田 (電北中)

今回は記事の執筆の機会をいただいた、キャンパスライフと受験に関するアドバイスについて述べさせていただきます。

私は今、東京大学の1年生として学業に励んでいます。始まりの時刻は高校のころより遅く、毎朝のんびり支度しています。勉強はというと、自分で興味のある講義を選択したというだけであって、なるとまじめに取り組んでいきます。しかし周囲を見回すと勉強よりもサークルやバイトを優先させる人も多く、その自由さや大学生ならではの生活が、私も運動系のサークルに所属していますが、自分の方針として勉強を中心としています。

受験に際して一言だけいわせてもらおうと、結果を自分で認めようということですね。後々認めることができないようならば、やらなければならないことを今のうちにやるようにしてください。そして結果を受け入れた後は大学生活を思いっきり楽しんでください。

私は今、東京大学の1年生として学業に励んでいます。始まりの時刻は高校のころより遅く、毎朝のんびり支度しています。勉強はというと、自分で興味のある講義を選択したというだけであって、なるとまじめに取り組んでいきます。しかし周囲を見回すと勉強よりもサークルやバイトを優先させる人も多く、その自由さや大学生ならではの生活が、私も運動系のサークルに所属していますが、自分の方針として勉強を中心としています。



佐保 慶多
法政大学経済学部
佐保 慶多 (九州学院中)

私は、中学・高校と九州学院です。このような素晴らしい学校で6年間学べたことを幸せに思います。

私はこの学校で、勉強や部活に一生懸命取り組み、また高校では生徒会長を務めさせてもらったりと、とても充実した日々を送ることができました。九州学院の魅力を表す言葉の一つに「九学ファミリー」というものがあります。私がこのように充実した生活を送ることができたのも、家族のように親しく温かい同級生や先輩後輩、先生方の応援があったからこそです。

私は今、東京大学の1年生として学業に励んでいます。始まりの時刻は高校のころより遅く、毎朝のんびり支度しています。勉強はというと、自分で興味のある講義を選択したというだけであって、なるとまじめに取り組んでいきます。しかし周囲を見回すと勉強よりもサークルやバイトを優先させる人も多く、その自由さや大学生ならではの生活が、私も運動系のサークルに所属していますが、自分の方針として勉強を中心としています。



片山 正貴
同志社大学政策学部
片山 正貴 (帯山中)

充実した3年間

2011年度 大学入試状況

2011年度の大学入試結果は、下記の通り東京大、京都大などの最難関の大学をはじめ国公立大学に52名が合格しました。

私立大学でもキリスト教主義学校の連携ネットワークの同志社大学に13名が合格したのをはじめ、265名が合格しました。

《国公立大学》

●東京大、京都大、大阪大、広島大、九州大(2)、熊本大(14)、熊本県立大(11)、防衛大(2)など国公立計52名。

《私立大学》

●同志社大(13)、上智大(2)、青山学院大(3)、中央大(4)、明治大(6)、法政大(5)、立教大(2)、西南学院大(17)、福岡大(14)、関西大(2)、立命館大(4)、明治学院大(3)、熊本学園大(34)、早稲田大、国際基督教大、東京女子大、関西学院大、神戸女学院大など計265名。

また、クラスの仲間と切磋琢磨しながら勉強に取り組むことができたことで、自分自身を高めることができたので、現在の大学に進学することができました。後略！

「九州学院百年史」を発行

九州学院創立百周年記念事業の一環「九州学院百年史」が11月中旬に発行の運びとなりました。

同誌は、創立時から昨年の百周年までの、九州学院の歴史を記したもので、本編・本文注釈・年表から成るB5版・1300頁の豪華版です。

校正などに慎重を期して、編集会議を重ねたために、本来の予定よりも大幅に発行が遅れましたことお詫び致します。(詳細は次号に掲載致します)

同窓会のページ

若年層卒業生が結集し

九州学院若手の会(仮称)「発足」

9月27日、九州学院会議室で、「九州学院若手の会(仮称)」発足準備委員会が開かれ、足準備委員会が開かれました。これは同窓会組織の若返りと活性化を図るため若手有志の力を集結させようと開かれたものです。当日はS34回(49歳)以下の各学年幹事約60人が参加。さまざまな意見

百周年記念事業の募金 寄付者芳名プレートが完成

九州学院創立百周年の記念事業の募金活動は、2009年4月から3年間に亘り行われ、約3300の個人および団体からの募金を頂きました。

9月24日(月)、百周年記念体育館の玄関壁面に、ご寄付を頂いた方々のご芳名が刻まれた、ステンレス製のプレート(エッチング)



東京九学会

KG会新卒者歓迎会(もんじゃ屋形船)

新卒13人が参加

7月1日(日)、九学東京若手の会 KG会が、KG会新卒者歓迎会(もんじゃ屋形船)を開催しました。参加者47人は、新卒の参加者は13人で

関西支部

2012年度

総会・懇親会を開催

6月2日(土)午前11時から、ホテルホッポイン・アミューズ(兵庫県尼崎市)において、九州学院同窓会関西支部の総会・懇親会が行なわれました。熊本県大阪事務所次

神奈川支部

多くの若手や

女子会員も参加

10月6日(土)、横浜市の横浜ガーデンホテルにて、平成24年度の九州学院同窓会神奈川支部の総会・懇親会が開催されました。会には村上智信氏(S15回)の司会で、荒木傑会長(S14回)の挨拶で始まり伊藤秀一監

査役(S20回)の監査報告で総会の議事が終わり、続いて木庭浩一氏(S28回)が学院を代表し、また同窓会小崎義昭参事(S4回)、同窓会岡嶋勇治副会長(S14回)がそれぞれ挨拶に立ちました。乾杯の音頭を今村讃氏(S1回)がとられ祝宴に入りました。連

場駅1階交番前に集合して「屋形船(定員50名)」に乗り込み、東京湾の風景を楽しみながら、もんじゃ焼きを食べ、お互いの近況や母校の話題に大いに盛り上がりました。今年無料招待された新卒の参加者は13人で

長を始め、関西にある各高校同窓会代表8名を来賓に迎え、九州学院からも教師、育友会役員、同窓会役員などが参加しました。総会で、横手会長らの挨拶、会計監査報告などが行なわれた後、津軽三味線の演奏がありました。その後懇親会に移

りました。ほぼ全員に素敵な賞品があたる抽選会もあり、最後に「火の国旅情」や「九州学院校歌」を斉唱してお開きとなりました。なお、今回も同志社大3年生の河崎華子さんに司会を務めてもらいました。

田中氏(S30回)母校にクラリネットを贈呈

9月19日(水)九州学院吹奏楽部OBの田中昭二氏(旧30回)から母校九州学院のプラスパンド部にクラリネットが寄贈されました。

九州学院同窓会関西支部の元支部長でもある田中氏は、兵庫県明石市にお住まいの85歳。九州学院が甲子園や全国駅伝に出場する時は必ず応援に来られる、母校愛に燃える大先輩です。

田中氏はおよそ70年前の九州学院在学中に吹奏楽部に所属し、クラリネットを演奏しておられたとのことです。

(S11回)も駆けつけ挨拶をされ、旧制30回の大先輩から大学入学

後、続いて木庭浩一氏(S28回)が学院を代表し、また同窓会小崎義昭参事(S4回)、同窓会岡嶋勇治副会長(S14回)がそれぞれ挨拶に立ちました。乾杯の音頭を今村讃氏(S1回)がとられ祝宴に入りました。連

川悠一東京九学会会長

かけています。齊藤文代さんは「母親松木スナヨさん(91)の体調が悪く、母と薫の対面が間に合わないかも」と不安になる。政府は北朝鮮と対話を進め、被害者が全員そろって帰国できるよう努力してほしい」と記者会見で語りました。松木薫氏が一日も早く帰還し、お母さんとの対面が実現する日が来るように共に祈りましょう。

田中氏(S30回)母校にクラリネットを贈呈

9月19日(水)九州学院吹奏楽部OBの田中昭二氏(旧30回)から母校九州学院のプラスパンド部にクラリネットが寄贈されました。

九州学院同窓会関西支部の元支部長でもある田中氏は、兵庫県明石市にお住まいの85歳。九州学院が甲子園や全国駅伝に出場する時は必ず応援に来られる、母校愛に燃える大先輩です。

田中氏はおよそ70年前の九州学院在学中に吹奏楽部に所属し、クラリネットを演奏しておられたとのことです。

(S11回)も駆けつけ挨拶をされ、旧制30回の大先輩から大学入学

後、続いて木庭浩一氏(S28回)が学院を代表し、また同窓会小崎義昭参事(S4回)、同窓会岡嶋勇治副会長(S14回)がそれぞれ挨拶に立ちました。乾杯の音頭を今村讃氏(S1回)がとられ祝宴に入りました。連

川悠一東京九学会会長

かけています。齊藤文代さんは「母親松木スナヨさん(91)の体調が悪く、母と薫の対面が間に合わないかも」と不安になる。政府は北朝鮮と対話を進め、被害者が全員そろって帰国できるよう努力してほしい」と記者会見で語りました。松木薫氏が一日も早く帰還し、お母さんとの対面が実現する日が来るように共に祈りましょう。

田中氏(S30回)母校にクラリネットを贈呈

9月19日(水)九州学院吹奏楽部OBの田中昭二氏(旧30回)から母校九州学院のプラスパンド部にクラリネットが寄贈されました。

九州学院同窓会関西支部の元支部長でもある田中氏は、兵庫県明石市にお住まいの85歳。九州学院が甲子園や全国駅伝に出場する時は必ず応援に来られる、母校愛に燃える大先輩です。

田中氏はおよそ70年前の九州学院在学中に吹奏楽部に所属し、クラリネットを演奏しておられたとのことです。

百周年記念事業募金 学年代表世話人報告会を開催

8月24日(金)、鶴屋麦菜館において、九州学院創立百周年記念事業募金学年代表世話人報告会が開催されました。

2011年の百周年の事業募金のために、同窓会としては学年代表世話人を中心に活動をしてきましたが、2012年3月をもって終了し、今回その報告会と慰労会を兼ねて懇親会を開いたものです。

会は岩永良之同窓会事務局長の司会で、長岡立一郎九州学院理事長、松村敏人九州学院同窓会長の挨拶の後、百周年記念事業募金委員会の土山研三委員長が、募金事業の最終報告をしました。

岡島勇治同窓会副会長の乾杯の発声で酒宴に移り、お互いの労をねぎらい、しばし懇親のひと時を持ちました。最後に清田優作氏(S51回)の音頭で校歌を斉唱し、内村公春九州学院長が閉会の挨拶をしてお開きとなりました。

活躍する同窓生

原田龍一氏(S32回) 前衛舞踊家として活躍

現在アメリカで前衛舞踊家として活躍している、原田龍一氏(S32回)が、シンガーソングライターの岩瀬明美氏とコラボする「魂の歌舞の公演のため」に、このほど来日し、熊本を皮切りに仙台でも公演しました。

原田氏は、九州学院高校時代には自転車競技部に所属し、1980年に中央大学に進学しました。卒業後、1988年に渡米。ブレイクダンス、バレエ、モダンダンス、パントマイムなどを体得し、独自の世界観とパフォーマンスを作り上げました。1995年から2年連続で、コロラド州の各新聞社が選ぶベストパフォーマンスを受賞しています。

9月9日、滋賀県タ

有村智恵子(S56回) 国内四大大会で初優勝!

9月9日、滋賀県タ

プロバレリーナの上原絵美さん(J58回)はポーランド国立バレエ団のオーディションに見事合格し、入団することになりました。

オーディションの途中に脚を骨折するというアクシデントのために手術を受け、日本に帰ってリハビリを続けていましたが、順調に回復しており、年末にはヨーロッパのステージへの完全復帰を目指します。

勝野洋氏(S20回)が母校を訪問

6月20日、九州学院OBで俳優の勝野洋氏がTVQのテレビ番組「きらり九州めぐり逢い」の取材のために母校を訪問しました。

勝野氏は1968年に九州学院高校を卒業、青山学院大に進学の後、かつての高視

ラオCCで行われたプロ選手権コニカミノルタ杯最終日、単独首位で臨んだ九州学院OGの有村智恵選手は2バーディー、2ボギーの72にまとめ、通算13アンダー、275で国内四大大会での初優勝を果たしました。

有村選手は今季3勝目で、ツアー通算優勝を13としました。

上原絵美さん(J58回) ポーランド国立バレエ団へ

プロバレリーナの上原絵美さん(J58回)はポーランド国立バレエ団のオーディションに見事合格し、入団することになりました。

オーディションの途中に脚を骨折するというアクシデントのために手術を受け、日本に帰ってリハビリを続けていましたが、順調に回復しており、年末にはヨーロッパのステージへの完全復帰を目指します。

勝野洋氏(S20回)が母校を訪問

6月20日、九州学院OBで俳優の勝野洋氏がTVQのテレビ番組「きらり九州めぐり逢い」の取材のために母校を訪問しました。

勝野氏は1968年に九州学院高校を卒業、青山学院大に進学の後、かつての高視



中 山康男氏(S34回) 難病支援の先頭に

九州学院OB中山康男氏(S34回)は、熊本難病・疾病団体協議会代表理事として、さまざまな難病に対しての理解を得るために、講演会や交流会などの活動を行っています。自身も1982年にクロン病を罹患。何度も開腹手術を経験する闘病生活をしながらもリハビリホームの施設長として働いています。難病を含む慢性疾患すべての人の輪を広げ、政府からさらなる支援を得るために、活動を行っています。

久保田選手は、2区から2位でタスキを受け取ると、期待に応えて区間賞の活躍でトップにおどり、2位に37秒の差をつけて4区につなぎました。青山学院はそのまま1位をキープして初優勝を果たしました。

久保田選手は、2区から2位でタスキを受け取ると、期待に応えて区間賞の活躍でトップにおどり、2位に37秒の差をつけて4区につなぎました。青山学院はそのまま1位をキープして初優勝を果たしました。

久保田選手は、2区から2位でタスキを受け取ると、期待に応えて区間賞の活躍でトップにおどり、2位に37秒の差をつけて4区につなぎました。青山学院はそのまま1位をキープして初優勝を果たしました。

久保田選手は、2区から2位でタスキを受け取ると、期待に応えて区間賞の活躍でトップにおどり、2位に37秒の差をつけて4区につなぎました。青山学院はそのまま1位をキープして初優勝を果たしました。

久保田選手は、2区から2位でタスキを受け取ると、期待に応えて区間賞の活躍でトップにおどり、2位に37秒の差をつけて4区につなぎました。青山学院はそのまま1位をキープして初優勝を果たしました。

久保田選手は、2区から2位でタスキを受け取ると、期待に応えて区間賞の活躍でトップにおどり、2位に37秒の差をつけて4区につなぎました。青山学院はそのまま1位をキープして初優勝を果たしました。

久保田選手は、2区から2位でタスキを受け取ると、期待に応えて区間賞の活躍でトップにおどり、2位に37秒の差をつけて4区につなぎました。青山学院はそのまま1位をキープして初優勝を果たしました。

久保田選手は、2区から2位でタスキを受け取ると、期待に応えて区間賞の活躍でトップにおどり、2位に37秒の差をつけて4区につなぎました。青山学院はそのまま1位をキープして初優勝を果たしました。

久保田選手は、2区から2位でタスキを受け取ると、期待に応えて区間賞の活躍でトップにおどり、2位に37秒の差をつけて4区につなぎました。青山学院はそのまま1位をキープして初優勝を果たしました。

久保田選手は、2区から2位でタスキを受け取ると、期待に応えて区間賞の活躍でトップにおどり、2位に37秒の差をつけて4区につなぎました。青山学院はそのまま1位をキープして初優勝を果たしました。

久保田選手は、2区から2位でタスキを受け取ると、期待に応えて区間賞の活躍でトップにおどり、2位に37秒の差をつけて4区につなぎました。青山学院はそのまま1位をキープして初優勝を果たしました。

久保田選手は、2区から2位でタスキを受け取ると、期待に応えて区間賞の活躍でトップにおどり、2位に37秒の差をつけて4区につなぎました。青山学院はそのまま1位をキープして初優勝を果たしました。

久保田選手は、2区から2位でタスキを受け取ると、期待に応えて区間賞の活躍でトップにおどり、2位に37秒の差をつけて4区につなぎました。青山学院はそのまま1位をキープして初優勝を果たしました。

久保田選手は、2区から2位でタスキを受け取ると、期待に応えて区間賞の活躍でトップにおどり、2位に37秒の差をつけて4区につなぎました。青山学院はそのまま1位をキープして初優勝を果たしました。

久保田選手は、2区から2位でタスキを受け取ると、期待に応えて区間賞の活躍でトップにおどり、2位に37秒の差をつけて4区につなぎました。青山学院はそのまま1位をキープして初優勝を果たしました。

久保田選手は、2区から2位でタスキを受け取ると、期待に応えて区間賞の活躍でトップにおどり、2位に37秒の差をつけて4区につなぎました。青山学院はそのまま1位をキープして初優勝を果たしました。



佐藤剛平選手



久保田選手

カウンセリング室より

日常的に誰でも気軽に利用を 古閑奈穂美

夏休みが終わり、まだ残暑厳しい中での体育祭、定期考査…と、慌ただしくも活気ある学校の日常が再開しました。

ただその一方で、今年は県内外で小・中・高校生に関する事件・事故等のニュースが相次いでいることもあってか、本校のカウンセリング室にも「心のケア」や「カウンセリング」についての問い合わせや申し込みが多く寄せられています。

とても辛く苦しい気持ちを長く抱えたまましていると、その辛さは心や体に何らかの形（異変・不調＝SOS）として表現されます。まずそのことをよく知っておくこと、そしてそういう時は、誰かに伝えてきちんと受け止めてもらうことがとても重要です。また、友だちや家族、身近な人の不調が心配な時は、声をかけて話を聞いてあげてください。

カウンセリング室は、何か心配な事態に陥った時はもちろんのこと、日常的に誰でも気軽に利用できる「予防的カウンセリング」の場として機能できればと思っています。はじめは少し勇気がいるかもしれませんが、友だちと数人で来てもらって OK です。また、保護者の方にも、個別でもグループでもお気軽にご利用いただき、大切なお子様の心の健康維持に少しでもお役立ていただければと思います。 tel 096-364-6134(内線109)



自然は最高の学校だと言われます。私たちは自然を通して多くのことを学びます。みどり幼稚園では日頃の保育において、山や川で生き物に接することができるよう配慮しています。毎朝、幼稚園に登園してきて、先ず入り口にある金魚鉢をのぞき込み、金魚の餌やりから始まり、蝶の幼虫やカマキリが卵から取りを子どもたち自ら実践しています。そして秋には収穫の芋掘り体験をして、手のひらサイズから大きいものは30センチほどもあるうかというお芋を掘り上げ、大喜びです。さらに園内ではトマト、キュウリ、茄子、

お米を育て、収穫して給食時には子どもたちは、それを口にし、「おいしい、おいしい」と喜んで食べ、好き嫌いの徐々になくなる子どもたちです。自然に触れる機会が少なくなった都会の子どもたち。でも自然と向かい合い、自然の中に息づいている「いのち」に気づかされ、自分もその一部であると感じづきや自覚が芽生えてくれればと思っています。夏から秋、そして冬に寒い冬の到来ですが、その季節の移り変わりの流れの中にも、園児たちは間違いなく成長しています。この10月20日(土)にはみどり幼稚園カーニバル(運動会)が開かれます。日頃からリズム遊びや運動を通して沢山のことを身につけてつづける園児たちの成長した姿をぜひ目にきて頂ければと思います。

九州学院みどり幼稚園 自然に触れ、いのちの尊さを学ぶ

みどり幼稚園園長 長岡立一郎

九中コーナー

新緑の九重高原で 全校教育キャンプ



6月6日から8日(金)、九州学院中学校恒例の全校教育キャンプを大分県九重高原の九重水キヤンプ場で行いました。風薫る九重高原の大自然の中で、共同生活を通して自主性と協調性を養い、共に働く喜びや感謝の心、自然愛などを育むことがテーマ。入梅を前にした晴天の下、太陽の広場で朝礼にラジオ体操。飯ごう炊さん、カレー作りにバーベキュー。さらにクラスレクリエーション、登山遠足、スケッチ大会、露天風呂入浴など、みんな教育キャンプを満喫。1年生はすっかり九中ファミリーの一員となつて帰校しました。保護者の皆さんの中には、生徒一人ひとりの思いのこもった葉書が、キャンプ場から届いたはず。

中学新生徒会役員

- 会長 和久田貴仁
副会長 米村 哲平
書記・会計 北海 三奈
土江 幹樹
福島 瑛介
徳本 佳大

1年生サマースタディ 生きたコミュニケーション 英語の学び

8月23・24日、1年生のサマースタディを本校で行いました。夏休み末に2学期へ向けた学習の準備を行うと同時に、英語による讃美歌合唱発表会や英語のゲームなどを4号館アリーナで実施。今、九中で新たに取り組んでいる生きたコミュニケーション英語の楽しい学びのひとつとなりました。英会話のスキルも日に日に向上しています。



中学校 表彰記録 5月25日～10月9日迄

水泳部

- 第44回西日本年齢別選手権水泳大会 (5月26日)
▽男子50m平泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100m平泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200m平泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500m平泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000m平泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000m平泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000m平泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000m平泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50m自由形 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100m自由形 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200m自由形 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500m自由形 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000m自由形 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000m自由形 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000m自由形 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000m自由形 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50mバタフライ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100mバタフライ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200mバタフライ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500mバタフライ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000mバタフライ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000mバタフライ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000mバタフライ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000mバタフライ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50m背泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100m背泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200m背泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500m背泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000m背泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000m背泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000m背泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000m背泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50m蝶泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100m蝶泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200m蝶泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500m蝶泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000m蝶泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000m蝶泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000m蝶泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000m蝶泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50m混合泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100m混合泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200m混合泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500m混合泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000m混合泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000m混合泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000m混合泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000m混合泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50m個人メドレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100m個人メドレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200m個人メドレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500m個人メドレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000m個人メドレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000m個人メドレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000m個人メドレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000m個人メドレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50mリレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100mリレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200mリレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500mリレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000mリレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000mリレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000mリレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000mリレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50mエントリ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100mエントリ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200mエントリ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500mエントリ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000mエントリ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000mエントリ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000mエントリ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000mエントリ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50mフィニッシュ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100mフィニッシュ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200mフィニッシュ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500mフィニッシュ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000mフィニッシュ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000mフィニッシュ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000mフィニッシュ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000mフィニッシュ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50mスタート 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100mスタート 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200mスタート 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500mスタート 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000mスタート 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000mスタート 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000mスタート 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000mスタート 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50mターン 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100mターン 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200mターン 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500mターン 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000mターン 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000mターン 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000mターン 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000mターン 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50mブレイク 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100mブレイク 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200mブレイク 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500mブレイク 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000mブレイク 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000mブレイク 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000mブレイク 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000mブレイク 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50mクロール 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100mクロール 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200mクロール 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500mクロール 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000mクロール 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000mクロール 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000mクロール 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000mクロール 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50mバタフライ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100mバタフライ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200mバタフライ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500mバタフライ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000mバタフライ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000mバタフライ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000mバタフライ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000mバタフライ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50m背泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100m背泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200m背泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500m背泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000m背泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000m背泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000m背泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000m背泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50m蝶泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100m蝶泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200m蝶泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500m蝶泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000m蝶泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000m蝶泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000m蝶泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000m蝶泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50m混合泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100m混合泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200m混合泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500m混合泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000m混合泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000m混合泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000m混合泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000m混合泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50m個人メドレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100m個人メドレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200m個人メドレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500m個人メドレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000m個人メドレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000m個人メドレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000m個人メドレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000m個人メドレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50mリレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100mリレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200mリレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500mリレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000mリレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000mリレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000mリレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000mリレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50mエントリ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100mエントリ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200mエントリ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500mエントリ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000mエントリ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000mエントリ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000mエントリ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000mエントリ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50mフィニッシュ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100mフィニッシュ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200mフィニッシュ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500mフィニッシュ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000mフィニッシュ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000mフィニッシュ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000mフィニッシュ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000mフィニッシュ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50mスタート 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100mスタート 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200mスタート 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500mスタート 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000mスタート 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000mスタート 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000mスタート 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000mスタート 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50mターン 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100mターン 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200mターン 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500mターン 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000mターン 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000mターン 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000mターン 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000mターン 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50mブレイク 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100mブレイク 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200mブレイク 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500mブレイク 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000mブレイク 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000mブレイク 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000mブレイク 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000mブレイク 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50mクロール 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100mクロール 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200mクロール 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500mクロール 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000mクロール 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000mクロール 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000mクロール 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000mクロール 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50mバタフライ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100mバタフライ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200mバタフライ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500mバタフライ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000mバタフライ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000mバタフライ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000mバタフライ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000mバタフライ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50m背泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100m背泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200m背泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500m背泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000m背泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000m背泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000m背泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000m背泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50m蝶泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100m蝶泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200m蝶泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500m蝶泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000m蝶泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000m蝶泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000m蝶泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000m蝶泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50m混合泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100m混合泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200m混合泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500m混合泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000m混合泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000m混合泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000m混合泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000m混合泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50m個人メドレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100m個人メドレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200m個人メドレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500m個人メドレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000m個人メドレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000m個人メドレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000m個人メドレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000m個人メドレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50mリレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100mリレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200mリレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500mリレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000mリレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000mリレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000mリレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000mリレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50mエントリ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100mエントリ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200mエントリ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500mエントリ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000mエントリ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000mエントリ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000mエントリ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000mエントリ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50mフィニッシュ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100mフィニッシュ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200mフィニッシュ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500mフィニッシュ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000mフィニッシュ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000mフィニッシュ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000mフィニッシュ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000mフィニッシュ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50mスタート 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100mスタート 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200mスタート 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500mスタート 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000mスタート 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000mスタート 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000mスタート 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000mスタート 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50mターン 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100mターン 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200mターン 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500mターン 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000mターン 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000mターン 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000mターン 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000mターン 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50mブレイク 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100mブレイク 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200mブレイク 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500mブレイク 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000mブレイク 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000mブレイク 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000mブレイク 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000mブレイク 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50mクロール 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100mクロール 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200mクロール 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500mクロール 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000mクロール 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000mクロール 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000mクロール 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000mクロール 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50mバタフライ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100mバタフライ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200mバタフライ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500mバタフライ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000mバタフライ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000mバタフライ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000mバタフライ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000mバタフライ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50m背泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100m背泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200m背泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500m背泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000m背泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000m背泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000m背泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000m背泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50m蝶泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100m蝶泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200m蝶泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500m蝶泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000m蝶泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000m蝶泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000m蝶泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000m蝶泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50m混合泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100m混合泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200m混合泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500m混合泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000m混合泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000m混合泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000m混合泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000m混合泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50m個人メドレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100m個人メドレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200m個人メドレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500m個人メドレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000m個人メドレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000m個人メドレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000m個人メドレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000m個人メドレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50mリレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100mリレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200mリレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500mリレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000mリレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000mリレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000mリレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000mリレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50mエントリ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100mエントリ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200mエントリ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500mエントリ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000mエントリ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000mエントリ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000mエントリ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000mエントリ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50mフィニッシュ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100mフィニッシュ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200mフィニッシュ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500mフィニッシュ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000mフィニッシュ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000mフィニッシュ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000mフィニッシュ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000mフィニッシュ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50mスタート 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100mスタート 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200mスタート 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500mスタート 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000mスタート 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000mスタート 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000mスタート 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000mスタート 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50mターン 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100mターン 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200mターン 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500mターン 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000mターン 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000mターン 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000mターン 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000mターン 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50mブレイク 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100mブレイク 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200mブレイク 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500mブレイク 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000mブレイク 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000mブレイク 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000mブレイク 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000mブレイク 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50mクロール 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100mクロール 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200mクロール 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500mクロール 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000mクロール 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000mクロール 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000mクロール 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000mクロール 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50mバタフライ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100mバタフライ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200mバタフライ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500mバタフライ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000mバタフライ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000mバタフライ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000mバタフライ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000mバタフライ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50m背泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100m背泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200m背泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500m背泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000m背泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000m背泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000m背泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000m背泳ぎ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50m蝶泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100m蝶泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200m蝶泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500m蝶泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000m蝶泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000m蝶泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000m蝶泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000m蝶泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50m混合泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100m混合泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200m混合泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500m混合泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000m混合泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000m混合泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000m混合泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000m混合泳 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50m個人メドレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100m個人メドレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200m個人メドレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500m個人メドレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000m個人メドレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000m個人メドレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000m個人メドレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000m個人メドレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50mリレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100mリレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200mリレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500mリレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000mリレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000mリレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000mリレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10000mリレー 優勝 木村 優太(1年)
▽男子50mエントリ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子100mエントリ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子200mエントリ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子500mエントリ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子1000mエントリ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子2000mエントリ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子5000mエントリ 優勝 木村 優太(1年)
▽男子10

[illegible]

女子空手東アジア・ジュニア組手 沖田選手が優勝



5月26日、東京・日野市市民の森 ふれあいホールで8カ国・地域の代表が出演して開幕した、空手の第1回東アジアジュニア・カデット選手権のジュニア（16歳～17歳）女子個人組手59キロ以下級で、九州学院高1年沖田理奈選手が初優勝の栄冠に輝きました。 沖田選手はリーグで争い、得意とする攻撃的舜肉代を5-0と難なく下し、2戦全勝で見事1位となりました。

18歳以下の世界選手権 大塚投手が健闘

野球部の大塚尚仁投手は、8月30日～9月8日に、韓国・ソウルで開催された、18歳以下の世界選手権に出場しました。

大塚選手は5試合にリリーフとして登板し、スライを武器に緩急織り交ぜた好投を見せ、日本チームの勝利に貢献しました。



2010年の夏の甲子園で初めてマウンドに上がり、2011年、2012年センバツと三度甲子園に出場し、この夏の県大会でも防御率は0点台と安定した投球をみせました。これまでの3年間の活躍が評価され、日本代表チームのメンバーに選ばれたものです。

平成 24 年度熊本県高等学校総合体育大会結果

団 体	優 勝	水泳部男子（14 連覇）、剣道部（8 連覇）、ボクシング部（6 連覇）、自転車競技部（4 連覇）、バスケット部（2 連覇）、陸上競技部（男子 学校対抗総合・トラック）
	準優勝	柔道部、バドミントン部、女子陸上競技部（学校対抗総合・トラック）
	3 位	ラグビー部、空手部女子団体組手

個人	水泳部	男子	50 ^ℓ 自由形：1位 田上／100 ^ℓ 自由形：1位 福原／200 ^ℓ 自由形：1位 瀬戸口、2位 福原、5位 内ヶ島／400 ^ℓ 自由形：1位 野間、2位 瀬戸口、3位 渡邊／1500 ^ℓ 自由形：1位 野間、2位 本田、3位 渡邊／100 ^ℓ 背泳ぎ：1位 中川、3位 本田、4位 益田／200 ^ℓ 背泳ぎ：1位 中川、3位 内ヶ島、5位 西／100 ^ℓ 平泳ぎ：2位 谷口、5位 鹿子生／200 ^ℓ 平泳ぎ：2位 谷口、5位 鹿子生／100 ^ℓ バタフライ：1位 田上、4位 嶋谷、6位 志賀／200 ^ℓ バタフライ：2位 志賀、3位 嶋谷、5位 森崎／200 ^ℓ 個人メドレー：1位 齊藤、2位 米村／400 ^ℓ 個人メドレー：1位 齊藤、2位 米村、3位 山田／400 ^ℓ リレー：1位 (福原、瀬戸口、中川、田上)／800 ^ℓ リレー：1位 (瀬戸口、野間、中川、齊藤)／400 ^ℓ メドレーリレー：1位 (中川、齊藤、田上、福原)
		女子	100 ^ℓ 自由形：1位 宮本／200 ^ℓ 自由形：1位 宮本／200 ^ℓ 平泳ぎ：6位 松本／200 ^ℓ 個人メドレー：1位 向山／400 ^ℓ 個人メドレー：1位 向山／400 ^ℓ リレー：2位 (宮本、向山、松本、樗木)／400 ^ℓ メドレーリレー：4位 (宮本、松本、樗木、向山)
	陸上競技部	男子	100 ^ℓ ：3位 上野、4位 瑞慶村、5位 北村／200 ^ℓ ：2位 上野、5位 北村／110 ^ℓ 障害：3位 吉住／1500 ^ℓ ：2位 内田、6位 幸村／5000 ^ℓ ：1位 内田、2位 坂本／3000 ^ℓ 障害：3位 中神、4位 浦田／400 ^ℓ リレー：1位 (瑞慶村、上野、佐竹、北村)／1600 ^ℓ リレー：1位 (佐竹、瑞慶村、北村、上野)
		女子	100 ^ℓ ：1位 野村、2位 福嶋、3位 田中／200 ^ℓ ：1位 野村、4位 福嶋、6位 村本／400 ^ℓ ：4位 村本／100 ^ℓ 障害：2位 沢田／400 ^ℓ リレー：1位 (田中、福嶋、村本、野村)／1600 ^ℓ リレー：2位 (平田、村本、田中、福嶋)
	柔道部	60 ^{kg} 級：2位 米村／66 ^{kg} 級：2位 永井／81 ^{kg} 級：1位 坂田、3位 園田／90 ^{kg} 級：1位 後藤、2位 守田／100 ^{kg} 級：2位 中道、3位 平賀／100 ^{kg} 超級：3位 坂田	
	剣道部	1位 持原、2位 永井	
	空手道	男子	個人形：1位 福山、3位 寺川、4位 田尻
		女子	個人形：2位 田尻、3位 加来、6位 石地 個人組手：1位 沖田、3位 椿林
	ボクシング部	ピン級：2位 住永／ライトフライ級：1位 堤／フライ級：1位 小山／バンタム級：2位 中河原／ライト級：2位 緒方 (陽)、3位 緒方 (賢)／ライトウェルター級：2位 小堀／ミドル級：3位 宮崎	
	自転車競技部	1000 ^ℓ タイムトライアル：1位 瓜生、2位 曾我、5位 河津、6位 古森／3000 ^ℓ 個人追い抜き：1位 瓜生、2位 河津／4000 ^ℓ 速度競争：1位 北口、2位 曾我、4位 古森／チームスプリント：1位 (瓜生、曾我、北口)／4000 ^ℓ 団体追い抜き：1位 (古森、河津、中村、西原)／スプリント：1位 曾我、4位 藤森、5位 古森／ポイントレース：1位 中村、5位 河津／スクラッチ：4位 北口、5位 藤森、6位 西原／ケイリン：1位 瓜生、2位 中村、3位 藤森、4位 北口、5位 西原／個人ロード：2位 河津	
テニス部	個人単：4位 中島		

北信越かがやき総体

■ **水泳部** (長良川スイミングプラザ)

■ 男子400mフリーリレー
8位 齊藤 凌 (2年)
福原 賢二 (2年)
中川 弘之 (3年)
田上 勇氣 (3年)

■ 女子200m自由形
2位 宮本 靖子 (3年)

■ 女子100m自由形
3位 宮本 靖子 (3年)

■ 男子200m背泳ぎ
6位 中川 弘之 (3年)

■ **自転車競技部** (彦彦競輪場)

■ 1000mタイムトライアル
優勝 瓜生 崇智 (3年)

■ チームスプリント
2位 北口、曾我、瓜生

■ スプリント
2位 曾我 圭佑 (3年)

■ **剣道部**
団体 ベスト8位

■ボクシング部(新潟県新潟市体育館)

- Lフライ級
3位 堤 聖也(2年)
- **女子陸上部(新潟ビッグスワン)**
- 女子100m
優勝 野林 祐実(2年)
- 女子200m
優勝 野林 祐実(2年)
- 女子最優秀選手賞受賞
- トラック総合 3位
- 団体総合 6位

ぎふ清流国体

ボクシング部
 ■ Lフライ級
 ベスト8 堤 聖也(2年)
 ■ フライ級
 ベスト8 小山 明良(3年)

自転車競技部
 ■ チームスプリント
 8位 瓜生 崇智(3年)

■水泳部

- 競泳少年女子A400m自由形
優勝 宮本 靖子(3年)
- 競泳少年女子A100m自由形
4位 宮本 靖子(3年)
- 少年男子A50m自由形
7位 田上 勇気(3年)
- 少年男子A200m背泳ぎ
6位 中川 弘之(3年)
- 空手道部
- 女子個人組手
3位 沖田 理奈(1年)
- 男子個人形
ベスト8 福山 博貴(3年)
- 女子陸上部
- 女子100m
2位 野林 祐実(2年)
- 女子400mリレー
3位 野林 祐実(2年)
福嶋 美幸(1年)

インマヌエル・カレッジから 訪日研修団が来熊

オーストラリア
姉妹校

7月1日(日)、オーストラリアからインマヌエル・カレッジの男子5名、女子2名と引率教師3名からなる訪日研修団が来熊し、九州学院との交流を深めました。

インマヌエル・カレッジは、南オーストラリア・アデレード市にある九州学院との姉妹校で、20年以上に亘って、留学生の交換や研修団の派遣などを中心に交流を続けています。

一行は東京、大阪、広島などで一週間の研修を終えた後に、熊本で九州学院の生徒の家にホームステイをしながら、書道、剣道を体験したり、各教室で授業を受けるなど学校生活を満喫しました。また、九州学院みどり幼稚園を訪問、ESS(英会話部)のメンバーやホストファミリーと一緒に



ホストファミリーも参加し、大いに盛り上がったフェアウェルパーティー

緒に熊本城を見学したり、バスで阿蘇を観光するなど熊本での生活を満喫しました。

7月8日(日)の夕方からは九州学院の多目的ホールでお別れ会が行われ、ホストファミリーをはじめ学校関係者など約70人が集まり、軽食をとりながら最後の別れを惜しみました。

9日(月)朝、ホストファミリーや学校関係者の見送りを受けオーストラリアへの帰路に就きました。

九州ルーテル合同研修団 オーストラリアを訪問

九州学院・ルーテル学院合同オーストラリア研修団(九学7名、ルーテル12名、引率2名)は、8月1日から14日まで、オーストラリアを訪問しました。

私自身は一度社会に出て留学しましたので、今回の研修のように高校生に英語漬けの環境に身を置き、異文化に

〈引率教師の手記〉

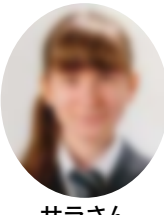
8月14日に無事2週間の研修を終えることができました。両校の二週間の研修を終えて、熊本にやってきました。熊本の2週間を終えて、熊本にやってきました。熊本の2週間を終えて、熊本にやってきました。

欧州から次々と留学生 デンマーク・スウェーデン フランス・フィンランド

デンマーク・スウェーデン
フランス・フィンランド

さよなら
サラさん、
デュレス君

(海外大学日本事務局)



サラさん



デュレス君

のプログラムで、九州学院で学んでいた留学生、デュレス・ブッシュ君(デンマーク)と、サラ・バーレンバークさん(スウェーデン)が6月16日(土)に帰国しました。

6月11日(月)の全校集会で、ふたりはそれぞれに日本語で挨拶をし、クラスメイトと別れを惜しみました。デュレス君はダイスケという愛称で親しま

ようこそ
ジュリエットさん、
アントン君

8月30日(木)、新しい二人の留学生が東京で

の二週間の研修を終えて、熊本にやってきました。熊本の2週間を終えて、熊本にやってきました。熊本の2週間を終えて、熊本にやってきました。



右がアントン君
左がジュリエットさん

この日はホストファミリーや学校関係者などが空港に出迎えしました。最初は緊張気味の二人でしたが、片言の日本語や英語で挨拶を交わし、すぐに打ち解

触れるような経験ができることが本当に素晴らしいことであると強く思います。生徒たちは、最初こそ英語を話すことに戸惑っていたようですが、徐々に慣れていった様子が見られました。

アデレードでは各ホストファミリーの方々に親切にしていただけでなく、お別れの時には子どもたちの多くが涙して別れを惜しんでいました。私自身子どもを持つ父親として、家族の時間を我々のために

最後に、インマヌエル・カレッジの日本語教室にて

10月27日(土)午後3時~オンエア TKU番組で九学紹介

TKUテレビ番組「私立高校を徹底調査! 集まれ中学生!!2012」の制作ロケが7月4日(木)、九州学院で行われました。

九州学院を訪れた姉妹校インマヌエル・カレッジの高校生を交えた英会話の授業を中心に、クラブ活動や、生徒の日常生活の様子などを、若手ランドの元スタッフ、高橋久美子レポーターが取材しました。

メインは九州学院中高で学ぶ兄弟姉妹全員が多目的ホールに集まった記念撮影でした。今年度も78組、159名もの多くの兄弟姉妹を学院に与えられたことは本当に素晴らしいことです。

その生徒達の保護者の中に多くの卒業生がいることも九州学院の大きな特色の一つと言えます。

なお、この番組は10月27日(土)午後3時からTKUで放送が予定されています。是非ご覧下さい。

チアダンス部 JCD A 九州大会で 4年連続優勝 全国大会へ

9月8日(土)、福岡市九電記念体育館で開催された、JCD A オールジャパン・チアダンス・チャンピオンシップ2012(日本チアダンス協会九州大会)の全日本ポピュラー高校生の部で、九州学院チア部門SMALL編成の部で、九州学院チームが4年連続の優勝を飾りました。

これにより、11月10日(土)に千葉県幕張メッセで行われる、全国大会に出場しますが、過去最高の6位以上の入賞を目指します。(吉岡部長)。今後益々の活躍が期待されるとこ

最後に、インマヌエル・カレッジの日本語教室にて



インマヌエル・カレッジの日本語教室にて

IEC総合英語暗誦 大会で上位入賞

7月14日(土)に八代ハートホールにおいて行われた、第37回IEC総合英語暗誦大会で、九州学院から参加した3名の生徒が全員上位入賞を果たしました。

高校入試のお知らせ

【奨学生】(専願生)

- 出願期間 平成25年1月10日~17日
- 試験日 平成25年1月23日
- 発表日 平成25年1月28日

【一般生】

- 出願期間 平成25年2月8日~14日
- 試験日 平成25年2月19日
- 発表日 平成25年2月22日

中学入試のお知らせ

【一般生】(前期)

- 出願期間 平成24年11月28日~12月4日
- 試験日 平成24年12月8日
- 発表日 平成24年12月11日

【奨学生】(専願生)

- 出願期間 平成24年12月14日~20日
- 試験日 平成25年1月12日

【一般生】(後期)

- 発表日 平成25年1月16日
- 出願期間 平成25年1月25日~30日
- 試験日 平成25年2月2日
- 発表日 平成25年2月5日

第2回

ブラウン(九学創設者)・ メモリアルコンサート

5月25日(金)18時~19時、九州学院高校吹奏楽部による第2回ブラウン・メモリアル・コンサート(旧称ブラウンチャペル・コンサート)が開催されました。

この日は、生徒、保護者、同窓生をはじめ地域の方にもご来場を頂きました。室永芳久吹奏楽部顧問の指揮の下、アラバン序曲(ジ・バーズ)、歌劇「サムソンとデリラ」よりバックカー

